



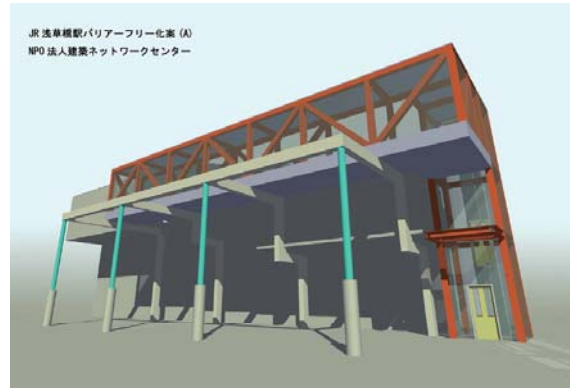
# 浅草橋駅バリアフリー化計画と まちの活性化をめざして

本年5月から台東区議の紹介により、地元で署名運動などを行っている「浅草橋駅バリアフリー化をめざす会」のサポートをすることになった。JRから駅舎の建築データは望めないというので、まず現状の計測調査を数回行い、最簡便のエレベーター・エスカレーター設置案を探った。この調査の中で駅敷地は線路幅の高架部のみで、ホームは両側の道路の上に張り出した特殊な構造、階段部は道路上空3.9mとひどく低いことも分かって来た。限定される可能性の中で各部分の優先順位まで含めたマスタープランの立案を行った。

この間、議員、及び「めざす会」の方たちとのワークショップを行い、バリアフリーについては近隣駅に比べ非常に劣っており、アップダウンのある長い階段に沿ったレール形のテーブルリフトしか無いため、不自由な人はタクシーを使って隣駅を利用することや、停滞した街の活性化、手摺・ベンチ等の色々な要望もうかがった。

出来た案は、両側の道路に柱を立てる、道路向かい側の私有地を買収する、借地の営業部分を使用する、などの難しい仮定の上に成り立つこととなり、単に駅の整備だけでなく周辺道路の歩道整備、ベンチや小公園といったユニバーサル化、商店街のアーケードや車両交通の制限などまちづくりの問題へ広げなければならず、それが地元の要望を満たす方向であることが見えて来た。

7月13日、「めざす会」とJRの直接話し合いが行われることになり、要望書及び駅での署名10,000筆の提出に立ち会うこととなり、技術・事務各1名が千葉支社に同行。区は「JRに対し浅草橋駅バリアフリー化を度々要望してきたが具体案の回答が未だに無い、案が出れば区は実現のため援助を惜しまない」といっている中で、次回エレベーター・エスカレーター設置の進行状況を回答してもらうこと、トイレ・手摺・ベンチ・駅員のサポートなどについても要望を伝え、定期的に直接話し合いを持つこととなった。



8月29日、第2回話し合い。追加署名2,100筆の提出及び前回の回答に立ち会うこととなり、「めざす会」と共に技術2名・事務1名が千葉支社に同行。JRは「10数年前に区道を使った案を出したが区との調整がつかなかった。また、エスカレーターは耐震の問題があり、費用についても厳しい」とのことであった。この話の内容で、図面は無いものの我々と同じ方向の案を探っていたことが分かった。10年もすれば世の中は変わっているのでは区のバリアフリー化への姿勢や建築技術の進歩をふまへ前向きに検討すること、また障害者団体など当事者を話し合いに加える必要があることも申し入れた。

さて、これから地元の人や区当局と共に実りある前進をするにはどうしたら良いか。よりどころとなる法律は「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー新法、2006年6月21日)である。市区町村は「協議会」を組織し基本構想を策定出来る、そのメンバーは市区町村・関係する施設管理者(JR)・公安委員、高齢者・障害者・学識経験者、その他必要と認める者であり、また、重点整備地区を定め国道・都道府県道について道路特定事業を実施するとある。

このようにバリアフリー新法は強力なツールを用意してくれているので、区の中に協議会を立ち上げることが出来れば前進すると考え、まずはここに目標を定めようと話し合っています。

(1級建築士 鈴木志朗)

## ティーたいむ

# 今年4月からの介護保険「改正」に思う まちづくりと一体のもの

介護支援専門員 原 玲子

今年4月に介護保険「改正」が行われ私達の老後是一段と暮らしにくくなりました。

今回の「改正」でいわゆる生活支援といわれているヘルパーの掃除・洗濯や買い物などのサービス時間がこれまでの60分以内と60分以上を20分～45分と45分以上に短縮されました。厚生労働省は60分以上を認めないわけではないとしていますが、報酬には反映させず、サービスを提供した場合は自己負担が事業所の負担でサービスを提供することになります。

買物一つにしてもヘルパーが訪問して利用者の体調などを見ながら食べたい物を決めて買い物に出かけていましたが、今は次回の訪問前に買い物をしてこないとサービスが時間切れになってしまいます。

また、1品でもヘルパーが手作りして少しでも食事がすすむようにしていたのが、コンビニ弁当を買って



済ますことになったという話も耳にします。

都心部でも商店がなくなり買い物難民が作り出されていますが、食べたい物などを近くの商店で選びながら買い物ができたら幸せだし、高齢になっても地域で暮らし続けることができるなと思います。住み慣れた街で暮らし続けるための介護保険サービス・福祉サービスの内容にさせることと住み続けられるまちづくりとは一体のものでなければならない、と考えてしまう今日この頃です。

## 建築ネットワークセンター創立15周年

# 文化・美術展を開催

来場者225名、出展92点

9月17日～23日開催の文化・美術展は、35人から出展の協力をいただき、来場者225名、出展92点と、大きく成功しました。

鑑賞者から「2年から3年間隔で開いたらどうか」など、様々な感想や意見・期待が寄せられました。

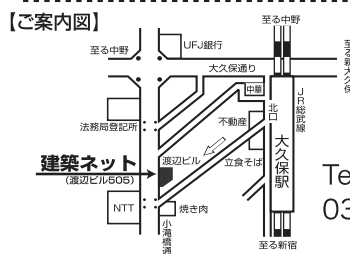


## 無料相談会のご案内

準備のため、いずれも事前にご連絡をお願いします。

- ◆住まいと建築なんでも相談  
毎週月曜日午後1:00～4:00  
その内容に合った専門家、一級建築士が対応します。
- ◆マンション何でも相談会  
第4土曜日午後  
弁護士、マンション管理士、建築士等専門家が複数で対応します。
- ◆住宅リフォーム相談会  
第1金曜日午後2:00～5:00  
リフォーム、新築など建築、設備、内装の専門家、健康住宅アドバイザー、ハウスマンテナーなどが対応します。

【ご案内図】



Tel. 03-5386-0608